

平成 28 年度 事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人遠野まごころネット

1 事業実施の概要

東日本大震災から 6 年が経過し、岩手県沿岸被災地では防潮堤や道路などの公共的なハード事業は、遅れながらも着実に進み、一方、被災者の生活再建等は、住宅の再建ができた人、未だ仮設住宅から出られず、前に進めない人と二極化が進んでいます。

平成 28 年度事業のうち、被災地支援の活動は、年度初めの 4 月に発生した九州熊本県地域に大地震災害が発生し、50 人ほどの犠牲者が出たことに伴い、熊本県菊池市を拠点として、益城町、西原村等に、また、8 月には台風 10 号によって甚大な被害が発生もたらされ、被害の大きかった岩泉町に職員を派遣し、ボランティアセンターの運営支援、足湯、お茶っこ等の被災者支援活動を展開しました。熊本や岩泉町は、東日本大震災と比較するとボランティアの数が足りない等の条件の中、日本財団の助成金を基に支援活動を展開し、どちらも、被災状況を考えると長期の取り組みが必要で、被災者の自立・精神的支えに心がけ、復興と地域づくりを災害以前からある課題も含めて取り組みました。東日本大震災被災地支援活動は、個人、企業、団体などのボランティア受け入れや研修を継続し、就労支援事業と連携して活動しました。

就労支援事業は、農業を切り口とした地域産業興しと雇用の確保を目指して取り組みました。

地域的には、大槌地区の「まごころの郷」農園を活用した憩いの場づくり、釜石市甲子町天洞地区や遠野市綾織町新里地区のぶどう園、遠野地区のバジル園等へのボランティアの誘導を行い、県内沿岸被災地及び遠野産のぶどうやリンゴを原料とするワイン、シードルの委託醸造・販売、これらの生産、加工のノウハウの向上、販売ルートの確保に力を注ぎ、就労支援事業利用者を始めとする被災地等住民との交流人口の拡大を進めました。

また、潜在的な対象者を掘り起し、社会に接点を持つことを習慣づけたいとの考え方から、バジル関連商品、まごころねこびんち、サンシェ等手芸品の制作、バジルの生産、ワイン用ブドウの生産活動等で、自立するための訓練を行い、3 月末で 26 人ほどの利用者が在籍しています。

なお、釜石の事業所は、借家で事業を展開しておりましたが、平成 28 年度の国庫補助金の交付が決定し、年度末には、建築工事の契約を結び、繰越事業として 10 月までには完成する見込みとなっています。

バジル生産やワイン用ブドウ生産では、第六次産業化モデルを確立し、事業の健全経営と同時に、被災地に新たな産業興しと雇用を創出するという大きな目標に向け、商品化に取り組みました。

限界集落の地域おこしプロジェクト「米通結いとりの郷」は、地元との協働で、いいたて雪つ娘かぼちゃの代理栽培や大槌復興米の生産に取り組み、その生産活動や交流から派生してこの地区では 45 年ぶりとなる昔ながらの結婚式が行われました。

鎮魂の伝統芸能共演行事「三陸海の盆」は、前回に引き続き県境を越え、宮城県南三陸町で開催し、今回は、地元の団体等の主体的な取り組みが見られ、今後の地域コミュニティづくりの一モデルになるものと考えています。

被災地子ども支援プロジェクト「まごころサンタ基金」事業は、復旧復興の格差が見られる現状を考慮し、前年度に引き続き状況に応じて給付する奨学金を増額することで、より支援を必要とする学生等を手厚く支援する方法も取り入れ、実施しました。採用された奨学生は 4 市町（大槌、釜石、大船渡、陸前高田）出身の 14 名で、総計では 9 市町村出身の約 450 名となりました。

被災地の子ども達に夢をとの趣旨で開催されてきた「サンタが 100 人やってきた！」プロジェクトは平成 28 年度も大槌、釜石を中心に約 300 人のボランティアの参加があり、子どもたちの笑顔が見られました。

岩手県の高校生をドイツに派遣し、知見を広めてもらうことで将来の復興の力とする『翼』独

日高校生交流プロジェクト」は、事業4カ年目で、県内の高校生6名を派遣しました。

また、海外では、ネパール大地震被災地のジョロンゲ村に生業の手段となるブロック工場の建設水道施設の設置や児童が使うピアノの贈呈事業、まごころサンタ基金を通じた教育環境の改善等に取り組ましました。

事務局体制の充実、強化は、人材の確保、職員間の連携、効率的な業務推進に努めたものの、退職者もあり、更に人材確保に努める必要があります。また千代田区神田にあった東京事務所は年度末をもって埼玉県川口市に移転、アンテナショップを併設した関東事務所として運営されることとなっています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	時期	場所 地域	従業 者数	対象範囲 予定人数	支出額 (千円)
海外を含む被災者支援のための情報収集、発信、コミュニティ再生、なりわい創造支事業	自然災害の被災地、被災者への復興支援活動の企画立案および実施（インターネット等による情報提供・交流、ボランティア派遣、支援物資の提供、産業再生・アドバイザー斡旋等）	通 年	岩手県沿岸被災地、熊本地方、岩泉町等	3	岩手県沿岸被災地、熊本県、岩泉町等の被災者	49,777
	海外での被災地支援として、ネパールの大地震被災地の支援活動の展開		ネパール国		ネパール約500人、	4,724
	支援活動から得られるノウハウの蓄積並びに今後の自然災害時に活かせる支援活動マニュアルの策定、被災地研修の受け入れ		岩手県、三陸沿岸被災地等		人事院研修、企業研修等約200人	840
	総合相談支援事業、メンタルプログラムの企画立案及び実施、助け合いセンターの運営、		岩手県、大槌町			3,356
指定就労支援事業	障害福祉サービス事業所の運営（就労移行支援、就労継続A、就労継続B）	通 年	釜石市・大槌町ほか	12	釜石市、大槌町外利用者26名	30,901
支援団体間の交流連携のためのネットワーク構築事業	被災者、支援者間の交流促進及び支援者同士の連携を図るまごころネットワークづくり、防災学習ネットワーク事業、学習支援事業	通 年	全国、ネパール等	2	全国、ネパール等	4,259
自然資源調査・活用事業	遠野の風土と観光を考える会事業の展開による自然資源の調査、観光産業の振興、自然資源の維持・保全の推進（自然エネルギーの活用）交流人口拡大モデル事業等の実施	通 年	遠野市他周辺地域	2	遠野市、三陸沿岸地域等	727
農林水産物の生産加工および販売事業	6次産業化事業の一環としてワイン用ブドウ、パジル等の栽培と商品開発、食品加工所等の運営、未来工房の運営等、被災地等の原料を使用したシールドル、ワインの委託醸造、販売事業	通 年	釜石市、大槌町、遠野市	3	釜石市・大槌町・遠野市、	8,386
被災地支援物品販売事業	復興支援Tシャツ、タオル、まごころねこびんち、サシェ等販売による風化防止及び内職支援、	通 年	関東、事務局等	1	広域	13,567
					支出金額 (千円)	116,537

(2) その他の事業

今年度予定なし